

山陰の金融経済動向

(概況)

山陰の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、全体として緩やかに持ち直している。

最終需要をみると、個人消費は、持ち直している。住宅投資は、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、持ち直している。公共投資は、横ばい圏内で推移している。

製造業の生産は、弱い動きとなっている。

この間、雇用・所得環境をみると、持ち直している。

1. 最終需要の動向

(1) 個人消費

個人消費は、持ち直している。

- 百貨店売上高は、弱めの動きとなっている。量販店売上高およびホームセンター販売額は、堅調に推移している。
- 家電販売額は、持ち直しの動きが一服している。
- 新車登録台数は、持ち直している。
- 観光関連の動きをみると、主要温泉地の旅館・ホテルの宿泊客数および空港利用者数は、持ち直している。

(2) 住宅投資

住宅投資は、持ち直しの動きが一服している。

- 新設住宅着工戸数の内訳をみると、持家は、弱い動きとなっている。貸家は、弱めの動きとなっている。分譲は、増加している。

(3) 設備投資

設備投資は、持ち直している。

- 建設投資の先行指標である建築着工床面積（非居住用）は、弱めの動きとなっている。
- 短観の設備投資計画をみると、2022年度は、製造業における能力増強投資や非製造業における新規出店・リニューアル投資などにより、前年を大幅に上回る計画となっている。2023年度は、前年を下回る計画となっている。

(4) 公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

- 公共工事請負金額をみると、横ばい圏内で推移している。

2. 生産の動向

生産は、弱い動きとなっている。

- 鉱工業生産を業種別にみると、電気機械は、弱い動きとなっている。鉄鋼は、弱い動きとなっている。一般機械は、弱めの動きとなっている。食料品は、持ち直している。紙・パルプは、弱めの動きとなっている。木材・木製品は、高水準で推移している。繊維は、横ばい圏内で推移している。

3. 雇用・所得の動向

雇用・所得環境をみると、持ち直している。

- 有効求人倍率は、高水準となっている。所得面は、改善の動きがみられている。

4. 物価の動向

- 消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、鳥取市、松江市とも前年を上回った。

5. 金融面の動向

- 金融機関（銀行・信用金庫計）の総預金残高（末残）をみると、個人預金を

中心に前年を上回って推移している。

- 貸出金残高（未残）をみると、個人向けを中心に前年を上回って推移している。
- 貸出約定平均金利（総合・ストックベース）は、低水準横ばい圏内で推移している。

6. 企業倒産の動向

- 企業倒産は、件数、金額とも低水準にある。

以 上